

海外安全対策情報（令和2年4～6月期）

1 治安情勢・一般犯罪の傾向

(1) NSW州

治安情勢は安定しており、NSW州全体の犯罪発生率は昨年と比較して、一部罪種（強姦）で微増傾向が見られるも、多くの罪種において同等又は減少している。特に強盗（凶器を用いないもの）、窃盗（車上ねらい及びひったくり、すり等人を対象）については、前年同期比で10%以上の減少率を記録しており、これは新型コロナウイルスの感染拡大により、外出機会が減少した影響と考えられる。

一方で、麻薬密輸をはじめとした薬物犯罪の検挙は依然として増加傾向にある。

なお、顕著な犯罪の増加傾向が認められる地域は以下のとおり。

○シドニー地域

Baulkham Hills and Hawkesbury：暴行・傷害（DV関連）（+32.7%）

Blacktown：強姦（+24.4%）

Parramatta：暴行・傷害（DV関連）（+9.9%）

Sutherland：強姦（+59.2%）

○Hunter Valley excluding Newcastle：強姦（+19.7%）

○Illawarra：強姦（+33.7%）

○Murray：暴行・傷害（DV関連）（+25.1%）

○Southern Highlands and Shoalhaven：強姦（+63.9%）

(2) 北部準州

治安情勢は安定しており、暴行・脅迫、性犯罪等人を対象とした犯罪は前年比+5.3%、窃盗、住居侵入等の所有権を侵害する犯罪は-8.6%となっている。

2 邦人被害

シドニー市内において、黒人差別反対を訴える Black Lives Matter デモが複数回行われ、中には警官隊との衝突も発生しており、このようなデモを認知すれば、速やかにその場を離れる等の注意が必要である。

3 テロ・爆弾事件発生状況

現在のところシドニーにおいて大規模なテロの発生はないが、昨年中、シドニー中心部での大規模テロを計画していた男3人が逮捕されるなど、当地におけるテロの潜在的脅威は相当程度存在し、特に人の集まる場所におけるテロの可能性について警戒を要する。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

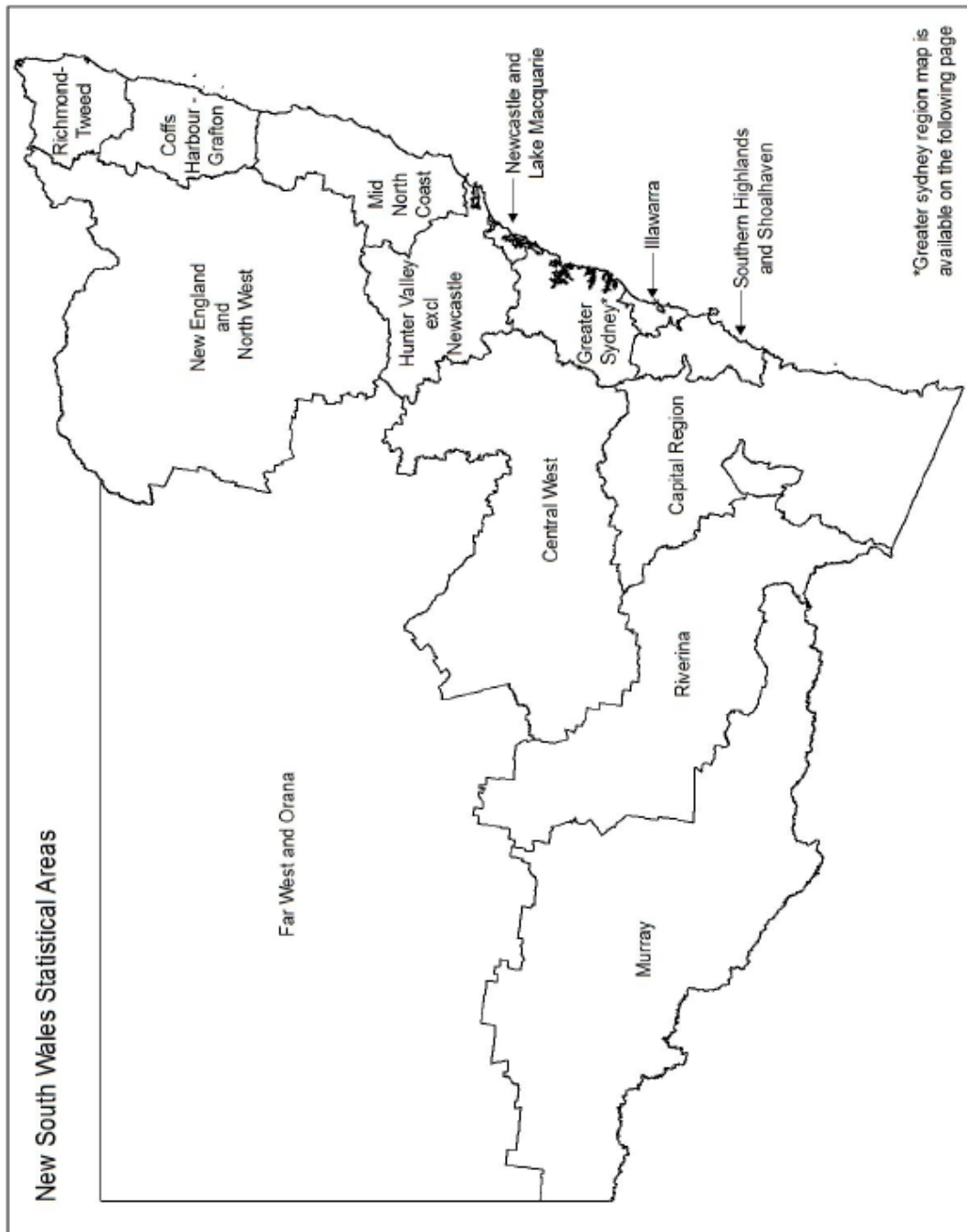
特段注意を要する事件・情報は認知していない。

5 日本企業の安全に関わる諸問題

期間中の動向は見られなかったものの、昨年中、シドニー市内において、我が国に対する抗議デモが2件（慰安婦問題、反イルカ漁）行われており、これら団体の動向等について引き続き注意を要する。

※統計は、NSW州犯罪統計局及び北部準州警察の公表に基づく（統計期間：2019年7月から2020年6月までの1年間（北部準州は2019年8月から2020年7月までの1年間）と前年同期との増減率）。

APPENDIX 4: NSW & GREATER SYDNEY STATISTICAL AREA MAPS



APPENDIX 4: NSW & GREATER SYDNEY STATISTICAL AREA MAPS

